

Q.1 議員を目指したのはなぜですか？

A.1 震災後、生まれ育った長田区が劇的に変わりゆくのを見ていただけでいいのか、不安を持ちました。そこでデザイナーとして働いた経験を活かし、市政を活性する力になりたいと思ったからです。



Q.2 議員になる前はどんな仕事をしていましたか？

A.2 中央区の広告・出版の会社に勤務し、コンピューターを使ったデザインの仕事をしていました。タウン情報誌の制作や、イラスト制作を担当。深夜まで帰れず休みも少ない重労働ですが広告主の発信したいことを形にするのはやりがいがありました。



平井まち子に関する Q&A

Q.3 親族に政治家はいますか？

A.3 いません。ごく普通のサラリーマンの家庭に育ちました。私自身、政治家秘書の経験もありません。

Q.4 政治信条やモットーはありますか？

A.4 世代交代よりも世代を繋いで協働を。また初出馬以来続けてきた、地域活動の場に足を運び、いろんな方のお声を聴く草の根の活動をこれからも自分の軸に。

Q.5 1期目に主に取り組んだことは何ですか？

A.5 神戸空港開港時だったので、もっと多くの人に神戸を訪れてもらえるよう、戦略的な都市セールスを訴えました。「おしゃれな街」「異国情緒ある港町」といった明確な神戸のブランド力を強く発信できるように、シンボルやキャッチフレーズに表現し、統一したルールに基づいた広報活動、CI(シティ・アイデンティティ)戦略をと提言しました。また中央区

や有馬に偏りがちな観光客誘致を、長田区を中心とした西神戸でも推進すること、そのための公共交通の活用・路線整備などを訴えました。



Q.6 今後主に取り組みたいことは何ですか？

A.6 神戸市は新長田の再開発ビルで、空き商業床解消のために家賃の減額・内装費の補助などを行ってきましたが、商業床全体の市場価値が著しく低下し、権利者が悲鳴をあげています。街の長期的な活力維持のため、まずは先送りされてきた巨大再開発事業の今後の明確な指針づくりに取り組みたい。



平井まち子 プロフィール

- 1976年神戸市長田区生まれ(34歳)
- 池田小、西代中、長田高校、神戸大学(文学部史学科)卒業
- 神戸電子専門学校を修了、広告代理店に勤務。DTPデザイナー、イラストレーターとしてタウン情報誌の制作などに携る
- 29歳の2005年10月、神戸市会補欠選挙にて10,436票をいただき初当選
- 2007年市会議員選挙で**5,413**票をいただくも**10票差**で惜しくも次点。

現在

- 長田神社氏子会参与
- 神戸金型工業会相談役
- 長田鮪商組合顧問
- 神戸あじさいライオンズクラブ会員
- 池田自治会相談役 など

夫とふたり暮らし。負けず嫌い、好奇心の強い性格。読書、アート全般、タウンウォッチングが趣味。

